

ガイドブック 北斎の「鎌倉・江ノ嶋・大山新板往来雙六」を歩く

発行日：令和 8 年(2026) 1 月 21 日

体 裁：A4 版 96 頁

内容紹介

冊子片手に

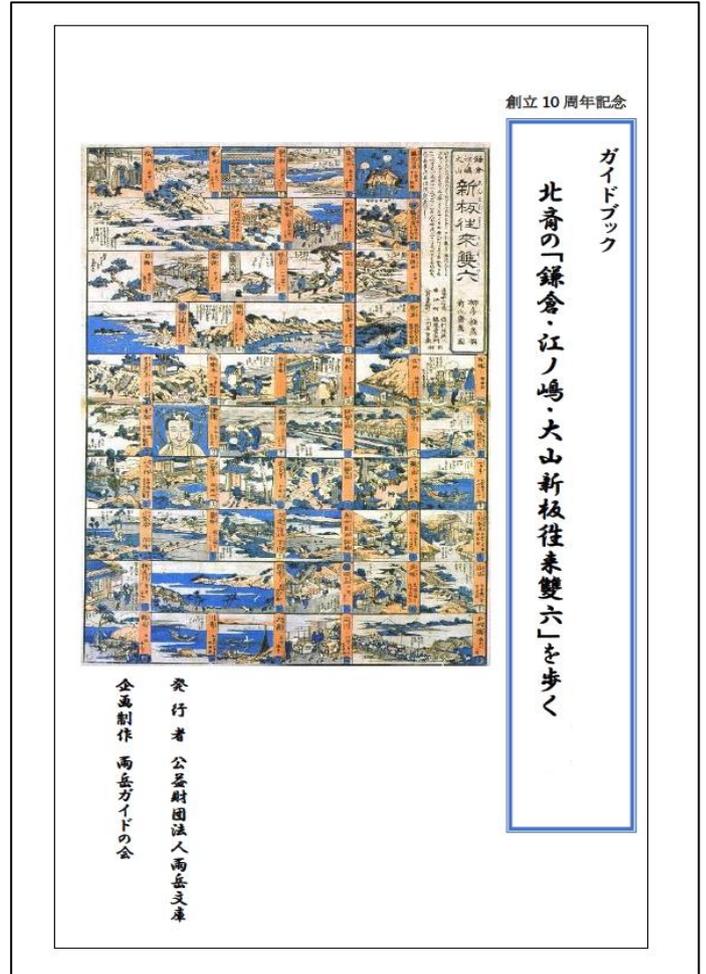
大山詣りの人気コースを歩いてみませんか！

創立 10 周年（創立 2015 年 2 月）を記念して、企画展「北斎の鎌倉・江ノ嶋・大山新板往来雙六を歩く」を開催しました。

この冊子は、展示準備のための実地検分用に作成したものです。名所旧跡・神社仏閣など見所の多いコースです。

はじめに

江戸時代、大山は山頂に祀られている石尊大権現（阿夫利神社）と、中腹にあった雨降山大山寺を中心に栄えました。江戸から 18 里（70・7km）の距離で、4～5 泊で行ける大山は「信仰と行楽」の旅の人気コースになり、多くの浮世絵に描かれました。葛飾北斎の「鎌倉・江ノ嶋・大山新板往来雙六」では、大山詣りの途中、鎌倉見物、江ノ島詣りに立寄ります。宿泊地は保土ヶ谷、雪ノ下（鎌倉市）、江の島、大山、鶴間（大和市）、溝口（川崎市）と 6 泊 7 日のちょっと贅沢な旅です。



- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|----------------------------|------------------------|
| 一 日本橋 品川へ二里 | 二 品川 川崎へ二里半 | 三 大森 名物 海苔 | 四 川崎 神奈川へ二里半 |
| 五 鶴見 名物 まんじゅう | 六 神奈川 程ヶ谷一里九丁 | 七 神奈川台ヨリ 本牧を望む | 八・泊・程ヶ谷 戸塚へ二里九丁 |
| 九 戸塚 武相の境を境木村という | 十 戸塚駅 鶴ヶ岡まで五十丁道二里九丁 | 十一 倉田・長沼・飯島 | 十二 大道 小菅谷村の小名 笠間 |
| 十三 粟船（大船） 離山の裾を十三丁めぐる | 十四 小袋谷・市場 | 十五 山の内 倉田戸塚のほitori中山の内 庄あり | 十六 円覚寺 瑞鹿山 |
| 十七 建長寺 巨福山 | 十八 巨福呂坂 | 十九 鶴ヶ岡八幡 七里ヶ浜まで一里 | 二十・泊・雪の下 |
| 二十一 琵琶小路 | 二十二 稻瀬川 又の名を口のせ川という | 二十三 深澤 大仏丈は二丈五尺 | 二十四 長谷 海光山長谷寺観音 |
| 二十五 星月夜の井 虚空蔵堂 | 二十六 極楽寺 切通し霊山 | 二十七 針磨橋 | 二十八 稻村 足洗い茶屋 |
| 二十九 七里ヶ浜 腰越まで四十二丁 | 三十 腰越 小動・江ノ島まで二十二丁 | 三十一・泊・江の嶋 藤沢まで五十丁道一里八丁 | 三十二 片瀬 西行の見返りの松 |
| 三十三 藤沢宿 四ツ谷へ一里 | 三十四 四ツ谷 一の宮へ二里 | 三十五 一の宮 田村へ十八丁 | 三十六 田村 伊勢原へ一里十八丁 |
| 三十七 伊勢原 大山前不動へ二里 | 三十八・泊・大山 伊勢原より石倉へ十八丁 | 三十九 粕谷 愛甲へ二十二丁 | 四十 愛甲 厚木へ三十四丁 |
| 四十一 厚木 河原口十八丁 | 四十二 河原口 鶴間宿へ二里半 | 四十三 鶴間が原 上鶴間是迄相模 | 四十四・泊・鶴間宿 長津田へ一里 是より武蔵 |
| 四十五 長津田 荏田へ二里 | 四十六 谷本 市ヶ岡を過ぎて荏田に至る 都築郡 | 四十七 荏田 依田とも書けり 二夕子へ二里 | 四十八 馬絹 橋樹郡 |
| 四十九・泊・溝ノ口 左峠形やま 右影向寺道 | 五十 二夕子 三軒茶屋へ二里 玉川六郷の上流 | 五十一 三軒茶屋 渋谷へ一里 荏原郡 | 五十二 渋谷 日本橋へ二里 豊島郡 |